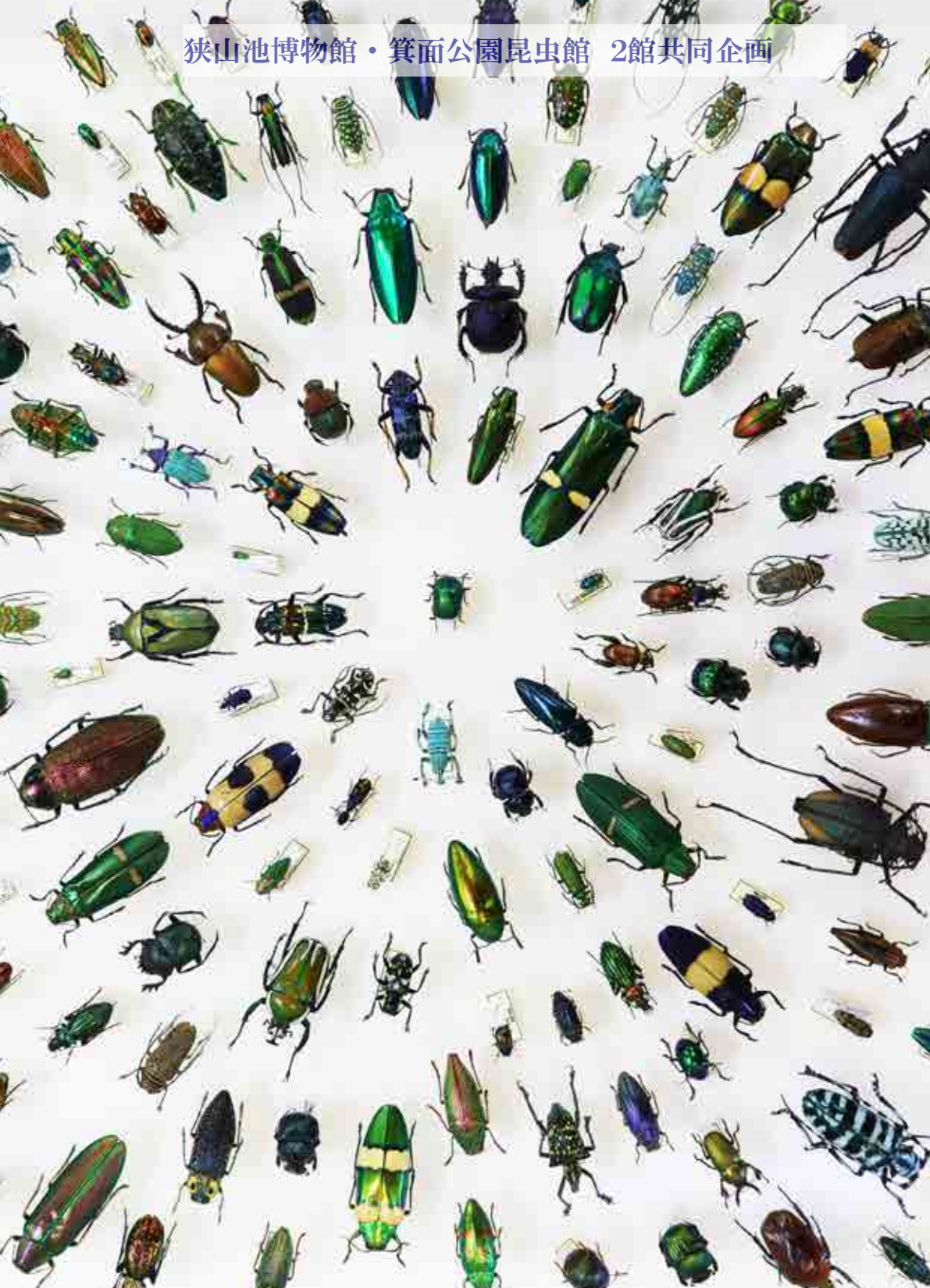


きらめく昆虫展



会期 2018.7.28(土)～9.9(日)

会場 大阪府立狭山池博物館 特別展示室

入館無料

■主催 大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館協働運営委員会（大阪府・大阪狭山市・狭山池まつり実行委員会）
大阪府営箕面公園昆虫館

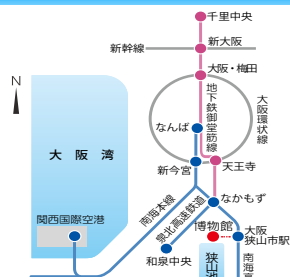
■後援 南海電気鉄道株式会社、泉北高速鉄道株式会社



治水灌漑の土木遺産を継承する

大阪府立狭山池博物館

〒589-0007 大阪狭山市池尻中二丁目 ☎072-367-8891
開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：毎週月曜日（月曜日が祝休日の場合は翌日）
<http://www/sayamaikehaku.osakasayama.osaka.jp/>



南海高野線「大阪狭山市」駅下車、西へ700m



きらめく昆虫展

昆虫の形をじっくり観察したことはあるでしょうか？

チョウが翅を閉じてとまると裏側が見えます。チョウの標本では背側が表、腹側が裏になります。金属光沢をもつ例えばきらめくチョウとして有名なメネラウスモルフォなどのモルフォチョウの仲間のオスは表が美しく輝き、裏は地味で目立たない模様をしています。これは輝く翅をきらきら見せることで同種のメスにアピール、認識させていると考えられています。

金属光沢をもつタマムシやカナブン、ハナムグリなどの甲虫類でも、表面が平らだったり、凹凸していたりといろいろなパターンや違いが見えてきます。

今回の企画展を通して昆虫の形態に関する深くて広い世界を楽しんでください。

(表)



メネラウスモルフォ

(裏)



メネラウスモルフォ



ウラベニタテハ



ウラベニタテハ



アカネアゲハ



アカネアゲハ



ユーダエモンシジミタテハ



ユーダエモンシジミタテハ

◆講演会「すごいぞ昆虫」

日時：平成30年7月29日(日)

午後2時～3時

講師：箕面公園昆虫館 館長 中峰 空氏

場所：狭山池博物館 2階ホール

定員：126名 当日先着順 無料

*小学生3年以下は保護者同伴

◆ワークショップ「昆虫の工作」

日時：平成30年8月2日(木)、8月25日(土)

午後1時～4時まで

(随時参加可能)

場所：狭山池博物館 2階ホール

当日先着順 無料

*小学生3年以下は保護者同伴



博物館敷地内には大型バス・車いす利用者の駐車場があります。一般の車両は約500m西にある狭山池の北堤駐車場をご利用ください。大型バスでのご来館の場合は、事前にご連絡ください。

■関連催し

これぞ昆虫の多様性！

「顎と角展」

場所 箕面公園昆虫館

期間 平成30年5月23日(水)～9月3日(月)